

# 令和6年度 学校安全優良校推薦資料

## 推薦者名称

阿久比町教育委員会教育長 竹内 淳

### 【推薦理由】

- ・ 警察署、交通指導員等と連携しての親子交通安全教室を、消防署、女性消防団と連携しての防火教室を実施するなど、地域の関係機関と連携して安全教育を行っている。また、大規模地震発生時に備えて保護者参加の引き渡し訓練を実施し、災害時の防災意識を高めている。
- ・ 地震、火災、不審者等の避難訓練を計画的に実施し、安全教育・安全管理に努めている。
- ・ 毎年、年長児が町の代表園児として、年始に消防出初式に参加しているため、園児や保護者の関心も高く、防火意識の向上を促進している。

ふりがな 学校(園)名	あぐいちょうりつ ようちえん 阿久比町立ほくぶ幼稚園		
所在地	〒470-2212 愛知県知多郡阿久比町卯坂字西谷 63		
ふりがな 校(園)長名	みずの さとこ 水野 聡子	電話番号	0569-48-5605
メールアドレス	hokubu-y@town.agui.lg.jp	ファックス番号	0569-48-5640

## 1 学校(園)の概要 (人数及び学級数は、令和6年5月1日現在)

教職員数	14人				
学級数	5学級				
幼児児童生徒数	103人				
管理下の 重大事故		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	死亡事故	0件	0件	0件	0件
	障害事故	0件	0件	0件	0件
過去の 表彰受賞歴	なし				

## 2 学校安全に関する特色ある取組や研究実践

### ○親子交通安全教室の実施

- ・町の交通指導員や警察の指導の下、毎年、交通安全教室にて親子で交通安全の話を聞いたり、模擬歩行訓練を実施したりすることで、交通安全に対する意識を高めている。

### ○消防署員や消防車を活用した、防火教室の開催

- ・火災避難訓練を実施し、役場防災交通課職員や女性消防団、消防署職員より、園児避難や職員連携について指導を受けている。職員消火活動も行い、緊急時対応力向上を図っている。
- ・園児は、消防車についての説明を聞いたり、試乗したりする機会をもつことで、防火に対する意識を高められるよう工夫している。

### ○町代表園児としての消防出初式への参加

- ・年長児が町消防出初式に参加し、消防署職員や地域の消防団と分列行進等を行うことで、地域消防に関する関心を高めると同時に、家庭の防火教育の促進を進めている。

### ○大規模地震発生及び南海トラフ地震臨時情報発令時の引き渡し訓練

- ・大地震発生時に、適切に避難、行動できるよう、毎年、全保護者参加の引き渡し訓練を行っている。緊急時の迎への仕方や園児の待機場所等を確認するなど、家庭でも災害について考える機会となるよう防災意識を高める指導をしている。

## 3 学校安全に関する取組

### (1) 安全教育について

#### ○地震、火災、不審者に対する避難訓練

- ・年間を通して計画的に様々な状況想定で訓練を行い、適切な避難指示（教師）、確実な避難（園児）ができるようにしている。課題点を挙げ改善し、職員、園児の安全に対する意識と行動する力が高められるようにしている。

#### ○交通安全に関するきまりの知識習得と意識の向上

- ・年に一度の親子交通安全教室の実施や、保育の中での交通安全に関する紙芝居等を使った指導を行っている。また、園外保育実施時には、実際の道路での歩き方や信号の見方、危険個所の予測等を園児が体験し、身に付けられるよう指導を行っている。

#### ○通園バス緊急時の行動の指導

- ・通園バス利用児には、バス乗車中の緊急時の行動を知らせ、実際にクラクションを鳴らす訓練を行っている。

#### ○安全な生活の仕方や遊具の使い方についての確認

- ・新年度進級時には、保育の中で、新しい保育室での生活の仕方や戸外遊具の使い方などについて話をし、実物を見て確認を行っている。

### (2) 安全管理について

#### ○マニュアル内容の共有と実施体制の周知・確認

- ・年度初めに、防災・危機管理マニュアル、事故防止マニュアル、戸外遊具の遊び方等を確認し、役割分担や対応の共通理解を図っている。
- ・年度初めに、バス通園コースを運転手と添乗員、全職員と子育て支援課職員とで確認し、安全な運行や残留園児防止チェック体制や運行マニュアルを確認し、安全意識を高めている。

○保育環境の確認と整備

- ・月に一度、保育室や園庭環境・遊具のチェックシートの記入を行い、安全確認を行っている。
- ・遊具安全点検業者による確認を年4回行い、役場と連携して必要な修繕を行っている。

○緊急避難時の保護者への連絡体制の確認

- ・年度初めの家庭訪問の折に、緊急時の連絡先確認を行い、確実に連絡が取れるようにしている。(事故・怪我・病気・園外保育緊急時・災害時等の連絡体制確認)

○人数確認と健康観察の徹底

- ・毎日の出欠、バスの残留園児確認、園外保育時の人数確認の仕方の周知、徹底を行い、健康観察・報告・連絡など、日々の安全管理体制を確実なものとしている。

○病気やケガ、アレルギー児の緊急事態の対応訓練

- ・アレルギーや持病等の共通理解を図ると同時に、エピペン研修等を行い、職員間で連携し対応にあたる実施訓練を行っている。

**(3) 家庭・地域等との連携について**

- ・年に一度、大地震発生時に備えた引き渡し訓練を行っている。また、進級時には防災用品の確認を行い、保護者へ周知している。
- ・消防出初式の消防署職員との打ち合わせを園内で行い、園舎内外把握を同時に行っている。
- ・園周辺の公共施設(図書館・児童館・子育て支援センター・消防署・警察署・町役場等)を教育活動に取り入れ、活用することにより、連携しやすい関係作りを図っている。
- ・PTAの協力のもと、焼き芋会等の行事で“火”について知ったり感じたり、正しい関わり方について学べたりできるようにしている。

**(4) その他特筆すべき内容**

- ・消防出初式には、年長児が代表で参加しているが、園内でも整列、敬礼、防火パレードなどの練習を行っている。その様子は、年下の子どもたちにも関心が広がり、防火啓発運動を行う年長児の姿に憧れをもつことにもつながっている。防火意識と合わせて、幼稚園ならではの異年齢で育ち合う姿がある。